

肥料等試験法(2016)の性能評価と肥料分析法(1992年版)との比較

肥料等試験法		妥当性確認した手順					肥料分析法	備考
項目番号及び項目(試験法)名	適用範囲における限定的記述の概要	真度	室間再現精度	中間精度	併行精度	定量下限	項目番号及び項目(分析法)名	
1. 総則								
1.1 共通事項 (1)適用範囲、(2)共通する一般項目及び用語、(3)水、(4)試薬、(5)器具類							1.1 原子量、1.2 重さ及び体積、1.3 温度、1.4 試薬、1.5 機器による分析、1.6 用語	共通事項にリバイス
1.2 試験法の妥当性確認							—	
1.3 試験法の運用 本試験法に代わる方法であって、試験法の妥当性確認の手順で要求する規準に適合する場合は、その方法を用いることができる。ただし、その結果について疑いがある場合は本試験法規定の方法で最終判定を行うものとする。なお、複数の試験法が記述されている試験成分の場合、最終判定には①室間再現精度が得られた試験法、②中間精度が得られた試験法、③その他の試験法の順で優先的に使用することを推奨する。							—	
2. 試料の取扱い								
2.1 サンプルング	肥料分析法(1992年版)を引用						2.1 採取法	
2.2 試料の保存							—	試料の保存方法を新たに記載
2.3 分析用試料の調製							2.2 調製法	分析用試料の調製にリバイス
2.3.1 予備乾燥								
2.3.2 縮分(分割)								
2.3.3 粉砕								
3. 一般項目								
3.1 水分又は水分含有量								
3.1.a 乾燥器による乾燥減量法			PT				3.1.1 加熱減量法	
3.1.b 水分計による乾燥減量法	汚泥肥料、堆肥、有機質肥料等	Com	Col		Col		—	分析法新規追加
3.2 灰分								
3.2.a 強熱残分法							3.2.1 強熱灰化法	
3.3 pH								
3.3.a ガラス電極法							3.3.1 ガラス電極法	分析法一部改訂
3.4 電気伝導率								
3.4.a 電気伝導率計による測定法							3.4.1 電気伝導率計法	

肥料等試験法		妥当性確認した手順					肥料分析法	備考	
項目番号及び項目(試験法)名	適用範囲における限定的記述の概要	真度	室間再現精度	中間精度	併行精度	定量下限	項目番号及び項目(分析法)名		
								3.5 粒度	
3.5.a	乾式ふるい分け試験法						—	JIS規格に規定されている方法を設定	
3.6 油分									
3.6.a	ジエチルエーテル抽出法						—	油糧分析法に規定されている方法を設定	
4. 主成分、保証成分等									
4.1 窒素									
4.1.1 窒素全量									
4.1.1.a	ケルダール法	硝酸性窒素を含まない肥料	Rec	CRM,PT	CRM	CRM	r	4.1.1.1 硫酸法	
4.1.1.b	燃焼法		Com	Col		Col	r	—	分析法新規追加
4.1.1.c	デバルダ合金-ケルダール法							4.1.1.2 デバルダ合金-硫酸法	
4.1.1.d	還元鉄-ケルダール法							4.1.1.3 還元鉄-硫酸法	
4.1.1.e	アンモニア性窒素及び硝酸性窒素よりの算出						—		計算による算出法を追加
4.1.2 アンモニア性窒素									
4.1.2.a	蒸留法	加熱により分解する物質を含まない肥料	Rec	CRM,PT	CRM	CRM	r	4.1.2.1 蒸留法	
4.1.2.b	ホルムアルデヒド法	動植物試料を多量に含まない肥料	Rec	CRM,PT	CRM	CRM	r	4.1.2.3 ホルムアルデヒド法	
—								4.1.2.2 通気法	—
4.1.3 硝酸性窒素									
4.1.3.a	デバルダ合金-蒸留法	加熱により分解する物質を含む肥料は除く		PT				4.1.3.2 デバルダ合金法	
4.1.3.b	還元鉄-蒸留法	加熱により分解する物質を含む肥料は除く		PT				4.1.3.1 還元鉄法	
4.1.3.c	フェノール硫酸法		Rec	PT		(r)	r	4.1.3.4 フェノール硫酸法	
—								4.1.3.3 紫外部吸光度法	—

肥料等試験法							肥料分析法		備考
項目番号及び項目(試験法)名	適用範囲における限定的記述の概要	妥当性確認した手順					項目番号及び項目(分析法)名		
		真度	室間再現精度	中間精度	併行精度	定量下限			
4.2 リン酸									
4.2.1 リン酸全量									
4.2.1.a バナドモリブデン酸アンモニウム吸光光度法		Rec	CRM,PT	CRM	CRM	r	4.2.1 バナドモリブデン酸アンモニウム法		
4.2.1.b キノリン重量法							4.2.2 キノリン重量法		
—							4.2.3 キノリン容量法	—	
4.2.2 可溶性りん酸									
4.2.2.a バナドモリブデン酸アンモニウム吸光光度法		Rec	CRM,PT	CRM	CRM	r	4.2.1 バナドモリブデン酸アンモニウム法		
4.2.2.b キノリン重量法							4.2.2 キノリン重量法		
—							4.2.3 キノリン容量法	—	
4.2.3 可溶性りん酸									
4.2.3.a バナドモリブデン酸アンモニウム吸光光度法	亜りん酸又はその塩を含まない肥料	Rec	CRM,PT	CRM	CRM	r	4.2.1 バナドモリブデン酸アンモニウム法		
4.2.3.b バナドモリブデン酸アンモニウム吸光光度法(亜りん酸又はその塩を含む肥料)	亜りん酸又はその塩を含む肥料	Rec	Col	T	Col,T	r	—	分析法新規追加	
4.2.3.c キノリン重量法	亜りん酸又はその塩を含まない肥料						4.2.2 キノリン重量法	試験法番号変更(4.2.3.b→4.2.3.c)	
—							4.2.3 キノリン容量法	—	
4.2.4 水溶性りん酸									
4.2.4.a バナドモリブデン酸アンモニウム吸光光度法	亜りん酸又はその塩を含まない肥料	Rec	CRM,PT	CRM	CRM	r	4.2.1 バナドモリブデン酸アンモニウム法	液状肥料の抽出操作追加	
4.2.4.b バナドモリブデン酸アンモニウム吸光光度法(亜りん酸又はその塩を含む肥料)	亜りん酸又はその塩を含む肥料	Rec	Col	T	Col,T	r	—	分析法新規追加 固形肥料の室間再現精度追加	
4.2.4.c キノリン重量法	亜りん酸又はその塩を含まない肥料						4.2.2 キノリン重量法		
4.2.4.d ICP発光分光分析法	液状肥料	Com,Rec		T	T	r,Rec	—	分析法新規追加	
—							4.2.3 キノリン容量法	—	
4.3 加里									
4.3.1 加里全量									
4.3.1.a フレーム原子吸光法又はフレーム光度法		Rec	CRM	CRM	CRM	r	4.3.3 フレーム光度法又は原子吸光測定法		

肥料等試験法							肥料分析法		備考
項目番号及び項目(試験法)名	適用範囲における限定的記述の概要	妥当性確認した手順					項目番号及び項目(分析法)名		
		真度	室間再現精度	中間精度	併行精度	定量下限			
4.3.1.b	テトラフェニルほう酸ナトリウム重量法		Rec			(r)	r	4.3.1 テトラフェニルほう酸ナトリウム重量法	
—								4.3.2 テトラフェニルほう酸ナトリウム容量法	—
4.3.2 く溶性加里									
4.3.2.a	フレイム原子吸光法又はフレイム光度法		Rec	PT		(r)	r	4.3.3 フレイム光度法又は原子吸光測光法	
4.3.2.b	テトラフェニルほう酸ナトリウム重量法		Rec			(r)		4.3.1 テトラフェニルほう酸ナトリウム重量法	
4.3.2.c	テトラフェニルほう酸ナトリウム容量法	有機物を含まない肥料						4.3.2 テトラフェニルほう酸ナトリウム容量法	
4.3.3 水溶性加里									
4.3.3.a	フレイム原子吸光法又はフレイム光度法		Rec	CRM,PT	CRM	CRM	r	4.3.3 フレイム光度法又は原子吸光測光法	液状肥料の抽出操作追加
4.3.3.b	テトラフェニルほう酸ナトリウム重量法		Rec			(r)	r	4.3.1 テトラフェニルほう酸ナトリウム重量法	
4.3.3.c	テトラフェニルほう酸ナトリウム容量法	有機物を含まない肥料						4.3.2 テトラフェニルほう酸ナトリウム容量法	
4.3.3.d	ICP発光分光分析法	液状肥料	Com,Rec		T	T	r,Rec	—	分析法新規追加
4.4 けい酸									
4.4.1 可溶性けい酸									
4.4.1.a	ふっ化カリウム法	シリカゲル肥料を含まない肥料	Rec	PT		(r)	r	4.4.3 フッ化カリウム法	ポリマー製ろ過器の追加
4.4.1.b	ふっ化カリウム法(シリカゲル肥料等)	シリカゲル肥料及びシリカヒドロゲル肥料	Com,Rec	Col		Col	—	—	分析法新規追加 ポリマー製ろ過器の追加
4.4.1.c	ふっ化カリウム法(シリカゲル肥料を含む肥料)	シリカゲル肥料を含む肥料	Com,Rec	Col		Col	r	—	分析法新規追加 ポリマー製ろ過器の追加
4.4.1.d	過塩素酸法	シリカゲル肥料を含まない肥料		PT				4.4.2 過塩素酸法	
—								4.4.1 塩酸法	—
4.4.2 水溶性けい酸									
4.4.1.a	ふっ化カリウム法	液体けい酸加里肥料	Rec		T	T	r,Rec	4.4.3 フッ化カリウム法	

項目番号及び項目(試験法)名		肥料等試験法					肥料分析法		備考
		適用範囲における限定的記述の概要	妥当性確認した手順					項目番号及び項目(分析法)名	
			真度	室間再現精度	中間精度	併行精度	定量下限		
	—							4.4.2 過塩素酸法	—
	—							4.4.1 塩酸法	—
4.5 石灰、カルシウム及びアルカリ分									
4.5.1 石灰全量									
	4.5.1.a フレーム原子吸光法		Rec	CRM	CRM	CRM	r	4.5.1.2 原子吸光測光法	
	—							4.5.1.1 シュウ酸アンモニウム法	—
4.5.2 可溶性石灰									
	4.5.2.a フレーム原子吸光法		Rec	PT		(r)	r	4.5.1.2 原子吸光測光法	
	—							4.5.1.1 シュウ酸アンモニウム法	—
4.5.3 水溶性カルシウム									
	4.5.3.a フレーム原子吸光法		Rec			(r)	r	—	分析法新規追加
	4.5.3.b ICP発光分光分析法	液状肥料	Com,Rec		T	T	L,Rec	—	分析法新規追加
4.5.4 アルカリ分									
	4.5.4.a エチレンジアミン四酢酸塩法			PT				4.5.2.2 エチレンジアミン四酢酸塩法	
	4.5.4.b 可溶性石灰及び可溶性苦土よりの算出			PT				4.5.2.3 原子吸光測光法	計算による算出法を明示(原子吸光測光法の記述を書替)
	—							4.5.2.1 塩酸法	—
4.6 苦土									
4.6.1 可溶性苦土									
	4.6.1.a フレーム原子吸光法		Rec	PT		(r)	r	4.6.2 原子吸光測光法	
	—							4.6.1 エチレンジアミン四酢酸塩法	—
4.6.2 可溶性苦土									
	4.6.2.a フレーム原子吸光法		Rec	CRM,PT	CRM	CRM	r	4.6.2 原子吸光測光法	
	—							4.6.1 エチレンジアミン四酢酸塩法	—
4.6.3 水溶性苦土									
	4.6.3.a フレーム原子吸光法		Rec	PT		(r)	r	4.6.2 原子吸光測光法	
	4.6.3.b ICP発光分光分析法	液状肥料	Com,Rec		T	T	r,Rec	—	分析法新規追加
	—							4.6.1 エチレンジアミン四酢酸塩法	—
4.7 マンガン									
4.7.1 可溶性マンガン									
	4.7.1.a フレーム原子吸光法		Rec			(r)	r	4.7.3 原子吸光測光法	

肥料等試験法								肥料分析法		備考
項目番号及び項目(試験法)名	適用範囲における限定的記述の概要	妥当性確認した手順					項目番号及び項目(分析法)名			
		真度	室間再現精度	中間精度	併行精度	定量下限				
—							4.7.1 ビスマス酸ナトリウム法	—		
—							4.7.2 過ヨウ素酸カリウム法	—		
4.7.2 く溶性マンガ										
4.7.2.a フレーム原子吸光法		Rec	CRM,PT	CRM	CRM	r	4.7.3 原子吸光測光法			
—							4.7.1 ビスマス酸ナトリウム法	—		
—							4.7.2 過ヨウ素酸カリウム法	—		
4.7.3 水溶性マンガ										
4.7.3.a フレーム原子吸光法		Rec	PT		(r)	r	4.7.3 原子吸光測光法	液状肥料の抽出操作追加		
4.7.3.b ICP発光分光分析法	液状肥料	Com,Rec		T	T	r,Rec	—	分析法新規追加		
—							4.7.1 ビスマス酸ナトリウム法	—		
—							4.7.2 過ヨウ素酸カリウム法	—		
4.8 ほう素										
4.8.1 く溶性ほう素										
4.8.1.a アズメチンH法		Rec	CRM,PT	CRM	CRM	r	4.8.3 アズメチンH法			
—							4.8.1 マンニトール法	—		
—							4.8.2 クルクミン法	—		
4.8.2 水溶性ほう素										
4.8.2.a アズメチンH法		Rec	PT		(r)	r	4.8.3 アズメチンH法	定量に影響する物質の除去操作を備考に追加		
4.8.2.b ICP発光分光分析法	液状肥料	Com,Rec		T	T	r,Rec	—	分析法新規追加		
—							4.8.1 マンニトール法	—		
—							4.8.2 クルクミン法	—		
4.9 亜鉛										
4.9.1 亜鉛全量										
4.9.1.a フレーム原子吸光法		Rec	CRM	CRM	CRM	r	5.1.2 原子吸光測光法	分析法改訂		
4.9.1.b ICP発光分光分析法	汚泥肥料等	Rec			(r)	r	—	分析法新規追加		
—							5.1.1 ジチゾン法	—		
4.9.2 水溶性亜鉛										
4.9.2.a フレーム原子吸光法		Com,Rec	PT		(r)	r	5.1.2 原子吸光測光法	液状肥料の抽出操作追加		
4.9.2.b ICP発光分光分析法	液状肥料	Com,Rec		T	T	L,Rec	—	分析法新規追加		
—							5.1.1 ジチゾン法	—		

肥料等試験法							肥料分析法		備考
項目番号及び項目(試験法)名	適用範囲における限定的記述の概要	妥当性確認した手順					項目番号及び項目(分析法)名		
		真度	室間再現精度	中間精度	併行精度	定量下限			
4.10 銅									
4.10.1 銅全量									
4.10.1.a フレーム原子吸光法		Rec	CRM	CRM	CRM	r	5.18.2 原子吸光測光法	分析法改訂	
4.10.1.b ICP発光分光分析法	汚泥肥料等	Com,Rec			(r)	r	—	分析法新規追加	
—							5.18.1 ジエチルジチオカルバミン酸ナトリウム法	—	
—							5.18.3 陽極溶出ボルタンメトリー	—	
4.10.2 水溶性銅									
4.10.2.a フレーム原子吸光法		Rec	PT		(r)	r	5.18.2 原子吸光測光法	液状肥料の抽出操作追加	
4.10.2.b ICP発光分光分析法	液状肥料	Com,Rec		T	T	L,Rec	—	分析法新規追加	
—							5.18.1 ジエチルジチオカルバミン酸ナトリウム法	—	
—							5.18.3 陽極溶出ボルタンメトリー	—	
4.11 有機炭素及び炭素窒素比									
4.11.1 有機炭素									
4.11.1.a ニクロム酸酸化法		Com,Rec	CRM	CRM	CRM	r	7.1 ニクロム酸酸化による有機炭素の定量法(参考法)	分析法改訂	
4.11.1.b 燃焼法		Com	Col		Col	r	—	分析法新規追加	
4.11.2 炭素窒素比									
4.11.2 炭素窒素比							—	計算による算出法を明示	
4.12 硫黄									
4.12.1 硫黄分全量									
4.12.1.a 過マンガン酸カリウム法	硫酸第一鉄を主体とする肥料	Rec			(r)	r	—	分析法新規追加	
4.12.1.b 塩化バリウム重量法	硫黄又は硫酸を主体とする肥料	Rec	Col		Col	r		分析法新規追加	
4.12.1.c 透過光測定法	硫黄又は硫酸を主体とする肥料	Com,Rec			(r)	r		分析法新規追加	
4.13 鉄									
4.13.1 水溶性鉄									
4.13.1.a フレーム原子吸光法		Rec	PT		(r)	r	5.17.2 原子吸光測光法	液状肥料の抽出操作追加	
4.13.2.b ICP発光分光分析法	液状肥料	Com,Rec		T	T	L,Rec	—	分析法新規追加	

肥料等試験法							肥料分析法		備考
項目番号及び項目(試験法)名	適用範囲における限定的記述の概要	妥当性確認した手順					項目番号及び項目(分析法)名		
		真度	室間再現精度	中間精度	併行精度	定量下限			
—							5.17.1 フェナントロリン法(またはジピリジル法)	—	
4.14 モリブデン									
4.14.1 水溶性モリブデン									
4.14.1.a	チオシアン酸ナトリウム吸光光度法		Rec	PT		(r)	r	5.27.1 チオシアン酸ナトリウム法	液状肥料の抽出操作追加
4.14.2.b	ICP発光分光分析法	液状肥料	Com,Rec		T	T	L,Rec	—	分析法新規追加
—								5.27.2 原子吸光測光法	—
4.15 コバルト									
4.15.1 水溶性コバルト									
4.15.1.a	フレイム原子吸光法							5.17.2 原子吸光測光法	
4.15.2.b	ICP発光分光分析法	液状肥料	Com,Rec		T	T	L,Rec	—	分析法新規追加
5. 有害成分									
5.1 水銀									
5.1.a	還元気化原子吸光法	液状汚泥肥料を除く	Com,Rec	Col,CRM	CRM	Col,CRM	r	5.12.1 還元気化法	分析法改訂、適用範囲表記変更(液状汚泥肥料を除く肥料)削除
5.1.b	還元気化原子吸光法(液状汚泥肥料)	液状の汚泥肥料	Rec		T	T	r	—	分析法新規追加
—								5.12.2 加熱気化法	—
5.2 ひ素									
5.2.a	水素化物発生原子吸光法		Com,Rec	Col,CRM	CRM	Col,CRM	r	5.24.2 原子吸光測光法	分析法改訂
5.2.b	ジエチルジチオカルバミン酸銀吸光光度法	硫黄及びその化合物以外の肥料		PT				5.24.1 ジエチルジチオカルバミン酸銀法	分析法改訂
5.2.c	ICP質量分析法	液状の汚泥肥料	Rec		T	T	r	—	分析法新規追加
5.3 カドミウム									
5.3.a	フレイム原子吸光法		Com,Rec	Col,CRM	CRM	Col,CRM	r	5.6.1 原子吸光測光法	分析法改訂
5.3.b	ICP発光分光分析法		Rec			(r)	r	—	分析法新規追加
5.3.c	ICP質量分析法	固形の汚泥肥料	Rec		T	T	r	—	分析法新規追加
5.3.d	ICP質量分析法	液状の汚泥肥料	Rec		T	T	r	—	分析法新規追加、試験法番号変更(5.3.c→5.3.d)
—								5.6.2 陽極溶出ボルタンメトリー	—

肥料等試験法							肥料分析法		備考
項目番号及び項目(試験法)名	適用範囲における限定的記述の概要	妥当性確認した手順					項目番号及び項目(分析法)名		
		真度	室間再現精度	中間精度	併行精度	定量下限			
5.4 ニッケル									
5.4.a フレーム原子吸光法		Com,Rec	Col,CRM	CRM	Col,CRM	r	5.21.1 原子吸光測光法	分析法改訂	
5.4.b ICP発光分光分析法		Rec			(r)	r	—	分析法新規追加	
5.4.c ICP質量分析法	液状の汚泥肥料	Rec		T	T	r	—	分析法新規追加	
—							5.21.2 ジメチルグリオキシム法	—	
5.5 クロム									
5.5.a フレーム原子吸光法(有機物を含む肥料)	有機物を含む肥料	Com,Rec	Col,CRM	CRM	Col,CRM	r	5.8.2 原子吸光測光法	分析法改訂	
5.5.b フレーム原子吸光法(有機物を含まない肥料) 肥料分析法(1992年版)を引用	有機物を含まない肥料						5.8.2 原子吸光測光法		
5.5.c フレーム原子吸光法(焼成汚泥肥料等)	焼成汚泥肥料等	Com,Rec	Col		Col	r	—	分析法改訂	
5.5.d ICP発光分光分析法	有機物を含む肥料	Rec			(r)	r	—	分析法新規追加	
5.5.e ICP質量分析法	液状の汚泥肥料	Rec		T	T	r	—	分析法新規追加	
—							5.8.1 ジフェニルカルバジド法	—	
5.6 鉛									
5.6.a フレーム原子吸光法		Com,Rec	Col,CRM	CRM	Col,CRM	r	5.19.1 原子吸光測光法	分析法改訂	
5.6.b ICP発光分光分析法		Rec			(r)	r	—	分析法新規追加	
5.6.c ICP質量分析法	液状の汚泥肥料	Rec		T	T	r	—	分析法新規追加	
—							5.19.2 陽極溶出ボルタンメトリー	—	
5.7 スルファミン酸(アミド硫酸)									
5.7.a イオンクロマトグラフ法	硫酸アンモニア	Rec			(r)	r	—	分析法新規追加	
5.7.b 高速液体クロマトグラフ質量分析法		Rec		T	T	r	—	分析法新規追加	
—							5.13.1 亜硝酸ナトリウム法	—	
5.8 チオシアン酸アンモニウム(硫青酸化物)									
5.8.a イオンクロマトグラフ法	硫酸アンモニア	Rec			(r)	r	—	分析法新規追加	
5.8.b 高速液体クロマトグラフ法		Rec	Col		Col	r	—	分析法新規追加	
—							5.15.1 硫酸銅法	—	
5.9 亜硝酸									
5.9.a 高速液体クロマトグラフ法		Rec	Col		Col	r	—	分析法新規追加	
—							5.2.1 スルファニルアミド-ナフチルエチレンジアミン法	—	

肥料等試験法		妥当性確認した手順					肥料分析法		備考
項目番号及び項目(試験法)名	適用範囲における限定的記述の概要	真度	室間再現精度	中間精度	併行精度	定量下限	項目番号及び項目(分析法)名		
							6.7 窒素の活性係数		
6.7.a	緩衝液法						4.1.7.1	緩衝液法	
6.8 初期溶出率									
6.8.a	水中静置法						5.33.1	水中静置法	
6.9 腐植酸(酸不溶アルカリ可溶分)									
6.9.a	重量法						5.25.1	塩酸-水酸化ナトリウム法	
6.10 硫酸塩									
	肥料分析法(1992年版)を引用						5.29.2.1	塩化バリウム法	
6.11 二酸化炭素									
	肥料分析法(1992年版)を引用						5.20.1	塩化バリウム法	
7. 硝酸化成抑制材									
7.1 2-アミノ-4-クロロ-6-メチルピリミジン(AM)									
7.1.a	高速液体クロマトグラフ法	Rec	(Col)		(Col)	SN	6.1.2	高速液体クロマトグラフィー	
	—						6.1.2	紫外外部吸光光度法	—
7.2 1-アミジノ-2-チオ尿素(ASU)									
7.2.a	高速液体クロマトグラフ法	Rec	Col		Col	SN	6.2.2	高速液体クロマトグラフィー	
	—						6.2.1	紫外外部吸光光度法	—
7.3 4-アミノ-1,2,4-トリアゾール塩酸塩(ATC)									
7.3.a	高速液体クロマトグラフ法	Rec	(Col)		(Col)	SN	6.3.1	高速液体クロマトグラフィー	
7.4 N-2,5-ジクロロフェニルスクシナミド酸(DCS)									
7.4.a	高速液体クロマトグラフ法	Rec	(Col)		(Col)	SN	6.4.2	高速液体クロマトグラフィー	
	—						6.4.1	ナフチルエチレンジアミン法	—
7.5 ジシアンジアミド(Dd)									
7.5.a	高速液体クロマトグラフ法	Rec	Col		Col	r	6.5.2	高速液体クロマトグラフィー	分析法改訂
	—						6.5.1	ニトロプルシドナトリウム法	—
7.6 2-スルファニルアミドチアゾール(ST)									
7.6.a	高速液体クロマトグラフ法	Rec	(Col)		(Col)	SN	6.6.2	高速液体クロマトグラフィー	
	—						6.6.1	紫外外部吸光光度法	—
8. その他									
8.1 メラミン及びその関連物質									
8.1.a	ガスクロマトグラフ質量分析法	Rec			(r)	r	—		分析法新規追加

肥料等試験法							肥料分析法		備考
項目番号及び項目(試験法)名	適用範囲における限定的記述の概要	妥当性確認した手順					項目番号及び項目(分析法)名		
		真度	室間再現精度	中間精度	併行精度	定量下限			
8.1.b (欠番)								8.1.cで分析可能のため削除	
8.1.c 高速液体クロマトグラフ法(有機物を含まない肥料)	有機物を含まない肥料	Rec	Col		Col	r	—	分析法新規追加	
8.1.d 高速液体クロマトグラフ法(有機物を含む肥料)	有機物を含む肥料	Rec		T	T	r	—	分析法新規追加	
8.2 クロピラリド、アミノピラミド及びピクロラム									
8.2.a 高速液体クロマトグラフタンデム質量分析法		Rec			(r)	r	—	分析法新規追加	
8.3 残留農薬多成分分析									
8.3.a 高速液体クロマトグラフタンデム質量分析法		Rec	Col		Col	r	—	分析法新規追加	
8.4 ナトリウム									
8.4.a フレーム原子吸光法		Rec		T	T	r	—	分析法新規追加	
8.5 グアニル尿素性窒素									
8.5.a 高速液体クロマトグラフ法		Rec		T	T	SN,Rec	—	分析法新規追加	
別添 試験法の妥当性確認手順									
別添 試験法の妥当性確認手順 (1)趣旨、(2)用語の定義、(3)妥当性確認の方法 (3.1)適用範囲、(3.2)選択性、(3.3)検量線、(3.4)真度、(3.5)精度、 (3.6)定量下限、(3.7)検出下限、(3.8)頑健性							—	同等とみなす分析法の評価基準及びその評価方法を設定	
参考1 測定値と認証値との比較手順							—		
参考2 室間再現精度又は中間精度及び併行精度の算出							—		
別紙 各濃度レベルにおける真度及び精度の目安							—		

■：肥料分析法(1992年版)の記述を肥料等試験法の様式に書き替えた方法。又は肥料等試験法に代替できる操作を追加した方法。(例：窒素の蒸留操作でほう酸溶液(40 g/L)を用いる操作)

赤字：肥料等試験法(2016)において改訂された箇所

妥当性確認した手順の記号

真度：CRM－肥料認証標準物質の利用、Com－妥当性確認された方法との比較、Rec－添加回収試験

室間再現精度：Col－試験法の妥当性確認のための共同試験、CRM－認証標準物質の値付けのための共同試験、PT－外部部精度管理試験(技能試験)

(Col)－試験法の妥当性確認のための共同試験(試験法の妥当性確認の手順に準じていないため参考)

中間精度：T－日を変えた反復試験、CRM－認証標準物質の値付けのための共同試験

併行精度：Col－試験法の妥当性確認のための共同試験、CRM－認証標準物質の値付けのための共同試験、T－日を変えた反復試験、(r)－併行試験(試験法の妥当性に準じていないため参考)

定量下限：r－併行試験により推定、L－検量線を用いて推定、SN－SN比により推定、Rec－添加回収試験により確認